

宮津市由良・インタビューに際してのこころづもり

060803-07 三橋

- 1) この調査は「由良の魅力について、生活者・体験者の視点から、教えていただくもの」です。
- 2) また、皆さんは「メモ魔」「写真魔」「スケッチ魔」「聞き上手」となって、「感動」や「発見」をもって行動して下さい。
- 3) まず、「由良のみなさまへ」を手渡して、自己紹介してください。
- 4) 「私たちは、由良の歴史的・自然的資源を活かしたエコミュージアム（地域丸ごと博物館）の提案をするために、調査にうかがいました。」
- 5) 次に、地図で住所を確認し（印を付け）、インフォーマントの「氏名・年齢」をうかがう。
- 6) 雑談や、テーマとは別の興味を持ったもの、発見・感動したものから話に入って結構です。それも貴重なデータですから、必ず「メモ」をとって下さい。
- 7) 調査テーマを1つ示して、「何か教えていただけませんか」と聞いて下さい。
 - (1班) 水田を再生して、環境教育のためのエコパークづくりを提案する
 - (2班) 由良が岳の、生態的、景観的、あるいは山との関わりについて、その魅力を調査する
 - (3班) 由良の伝統的町並みや歴史的資源を生かし、町ぐるみ博物館を実現するための、各家の「お宝自慢」を調査する
 - (4班) 汐汲浜の塩づくりの道具・方法や海の遊びを調査して、海の生活の魅力を発見する
- 8) うかがった話で不明の点は、繰り返し（紙に書くなどして）確認して下さい。土地の「ことば」など、確認が必要です。
- 9) 一つの話から「なぜ」「誰が」「どうやって」「その時代は」など、深い話に進めて下さい。
- 10) スケッチを描いて話を進める、1月から12月までの流れで話をうかがう、植物図鑑や地図などを見ながら確認する、など効果的です。
- 11) 相手のペース・具合を配慮して、ゆっくりお付き合いし、1時間くらいのインタビューが良いでしょう。
- 12) 必ず、インフォーマントの「顔写真」や「記念写真」を撮らせてもらって下さい。
- 13) 関連するインフォーマントを紹介してもらって下さい。
- 14) 最後に、8月6日の夜の学生発表会にお誘いして下さい。

(・・・おつかれさまでした・・・)